

2025年度 施設評価 自己評価結果公表シート

2026年 4月
東月寒にれこども園

先日は施設評価 保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。
結果を集計したのち、職員で共有、必要な項目について改善策などを講じ、園の自己評価を決定しました。
この自己評価は、当園の保護者や関係者で構成される施設評価委員会にて、その改善策や自己評価の理由が適切であるかを審査していただいております。

今回の結果を次年度の運営に活かしてまいりますので、今後も日々の教育・保育へのご理解、ご協力を
よろしくお願いいたします。

1、園の教育保育目標

- ・ 友達と協力できる子ども(協調性)
- ・ 小さな事に感動し、創造性豊かな子ども(創造性)
- ・ 自分の考えを表現できる子ども(主体性)

2、本年度に設定した施設評価の計画と目標

- ・ 園内の安全確認や設備点検の定期的な実施
- ・ 園の基本方針や認定こども園教育保育料量に基づいた保育
- ・ 評価項目に沿った自己評価を実施し、各職員が主体的に見直しや改善を行う。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

※ 評価の基準 A … 十分達成できた B … おおむね達成できた
 C … あまり達成できなかった D … 達成できなかった

評価項目	結果	理由 ・ 改善策
教育・保育目標	A	教育・保育目標の実現に向けた活動を行うことができた。
教育・保育状況	A	乳児期の安心感を土台に幼児期では保育者と信頼関係を築き、心身の発達や主体性・社会性の習得に向けた活動を提供することができた。また、園での活動を保護者に知らせる際には、園児らしさを大切にしていることを伝え、育ちを共に見守っていくようにする。
教育・保育環境	A	園内の清潔・安全を保ち、園児が楽しく生活する環境を作ることができた。
保育教諭の役割	B	専門性を高めるため日々研鑽を積み丁寧に実践したことで、保護者からも評価を得ることができた。限られた時間の中で、より保護者が安心できる情報交換を行うために、個別面談や電話・連絡アプリ等によるやりとりなどを積極的に取り入れ、家庭環境を踏まえた柔軟な体制を整えていく。
保護者支援	A	電話や保護者対応についての評価が得ることができた。引き続き、丁寧な対応を心掛けていく。
食育	A	栄養士による定期的なイベントは園児に深く浸透し、栄養士による園児との直接的な関わりも含め、食事への意欲や期待を高めることができた。保護者の認知度も高く、当園の食育活動を知るきっかけにもなっており、継続して取り組んでいく。
その他	A	本園での活動に対して高い評価を得ることができた。今後も園児の健やかな成長の一助となるよう、質の高い教育・保育の提供と保護者支援に努めていく。

4、施設評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

< A >

前年度の結果を受け、新たに挨拶運動や食育イベントを設け、園の運営や日々の教育・保育の見直しを図ったことで、目標や計画の成果について、十分な評価を得ることができた。
 保護者対応では、保育と並行して行われる送迎時の対応には限りがあるため、抜本的な改善が必要となるが、保護者の需要に合った情報交換に努めたことで、一定の改善は見られた。
 主体性や社会性が身につくための働きかけについて、保護者は「自身の子どもができていくかどうか」という点で判断する傾向にあるため評価が二分してしまうが、園の取り組みとしては評価を得られている。次年度は取り組みの意図や目的と併せて幼児期における主体性・社会性について、丁寧に周知し、園児それぞれの歩みを大切にしていけるようにする。

5、今後のこども園運営について

今年度の結果を踏まえ、以下の点を次年度の園運営に反映させる。

- 保護者に向けたクラス懇談や掲示での定期的な情報提供。
 - ・主体性、社会性に関わる活動の様子
 - ・駐車場利用に関する注意喚起、冬季の除雪についてのお知らせ
 - ・個別面談や電話等によるサポートコミュニケーション など
- 2～5歳児に対し、集団生活でのマナーや道徳、協調性などの力が身につくような活動を新たに設け、異年齢での交流も交えながら社会性の育ちを促していく。
- 挨拶月間を4月、8月、12月に設ける。
- 栄養士による新たな食育活動や保護者支援を設ける。

園での活動や園児の姿について、園の運営と家庭環境双方に合った形で情報共有ができるよう工夫し、継続可能な方法で保護者の理解を得られるようにする。

今年度の施設評価にご協力いただき、誠にありがとうございました。
 至らない点もあったかと思いますが、皆様のご協力により、園の運営や教育・保育についてより広い視野で見つめ直すことができました。
 今後もより良い園づくりのため、お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

公開保育について

対象クラス ひまわり組(5歳児)

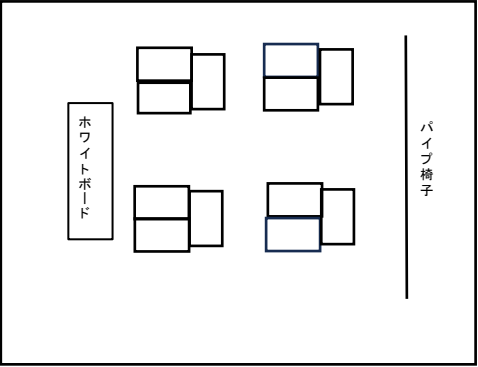
参加者 保護者 伊藤評価委員 西井評価委員 阿久津評価委員
施設評価委員 内山評価委員
にれ第2こども園 保育教諭

日時 1/15(木) 10:00～ ひまわり組 こくごのじかん「たぬきの手紙」

内容 別紙参照



日 案

日時	令和8年1月15日（木）		10時00分 ～11時00分
クラス名	ひまわり組	担当者	立花、辻
行事名	公開保育 こくごのじかん 「たぬきからの手紙」		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力し正しい文章を導く楽しさを感じる。 ・買い物をする時の言葉を知り、やり取りを楽しむ。 		
時間	幼児の活動	環境構成	援助及び配慮事項
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールに移動。挨拶、活動開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備、資材の確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・机は事前にグループにしておく。
10:05	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストにたぬきからの手紙が届いていることを伝える。 ・手紙の内容を伝え、全員で解いていく。 	 <p>※買い物を行うときはホワイトボードを端に寄せ、課外の机を並べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明時は椅子を正面に向け、聞く体制を整える。 ・通常的环境と違うので落ち着かない子には担任が側に付き安心できるようにする。
10:10	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループにも手紙があることを伝え、配っていく。 ・グループで問題を解いていく。 ・全員が解けたことを確認し、買い物に行くことを提案する。 		<p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机 ・椅子 ・ホワイトボード ・たぬきからの手紙 ・各グループの手紙 ・野菜のラミネート ・お金と入れる箱 ・チラシ ・鉛筆 ・課外の机（3台） ・見学用パイプ椅子
10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・店員と客に分かれて行うことを伝える。やり取りの言葉を確認する。 ・チラシを配り、自分の買う物の値段を調べ、箱からお金を出す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解いている時は見学の方にも子どもの周りに行って、見てもらうように声掛けを行う。
10:20	<ul style="list-style-type: none"> ・前後半に分け、店員と客に分かれて買い物をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の買うものの値段が分からない子にはチラシを一緒に見ながら理解できるように促していく。
10:25	<ul style="list-style-type: none"> ・全員買うことができたなら、買った品物をたぬきが貼ってあるホワイトボードに張り付けていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・買い物はペアで行くことを約束し、一人になることがないように見ていく。
10:40	<ul style="list-style-type: none"> ・たぬきからのお礼あと、協力して買い物できたことを伝え、今後のお店屋さんごっこへの期待に繋げていく。 		
10:50	<ul style="list-style-type: none"> ・終了 		
11:00			